

障害者虐待防止対策における研修状況等に関するアンケート調査

1. 調査目的

障害者虐待防止対策の推進及び障害者虐待防止に関する啓発活動の一環として、高崎市内の障害福祉サービス提供事業所における障害者虐待防止対策のための研修・事業所取り組み状況について、アンケート調査を実施した。

調査結果は、高崎市のホームページ内で公開すると共に、高崎市障害者支援協議会が発行している事業所紹介冊子に掲載する。

2. 調査の対象

高崎市内の障害福祉サービス提供事業所

3. 調査の方法

郵送により配布・回収を行う自記式質問紙方式

4. 調査の期間

平成29年9月1日～10月10日（10月31日までに到着したものは有効とした）

5. 調査の回収状況

有効回収率71.1%（有効発送数211通 有効回収数150通）

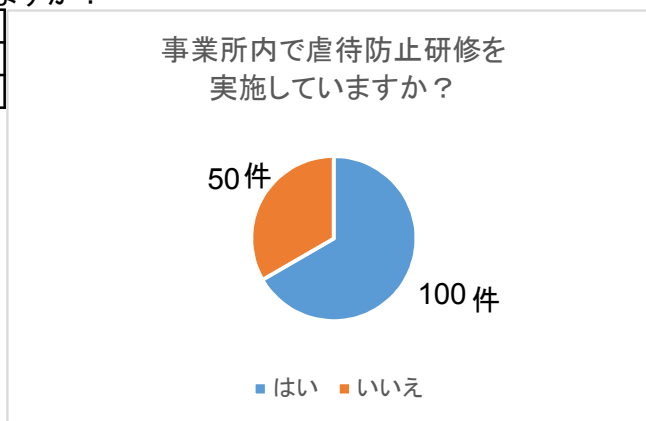
平成29年度 障害者虐待防止アンケート

アンケート配布数	211事業所
アンケート回収数	150事業所
回収率	71.1%

◆貴事業所での障害者虐待防止研修についてお伺いします。

1 事業所内で虐待防止研修を実施していますか？

	事業所数(件)	割合
はい	100	67%
いいえ	50	33%

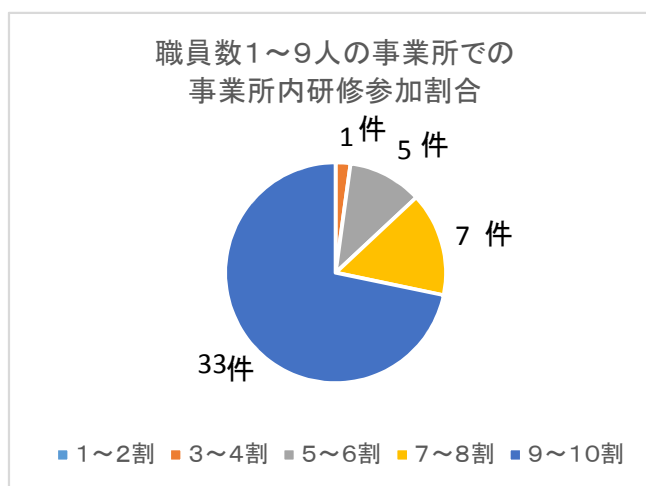


2 1で「はい」と答えた方にお伺いします。

①事業所内の研修の非常勤職員を含む全職員(支援員・事務員等の職種は問いません)の参加状況を教えてください。

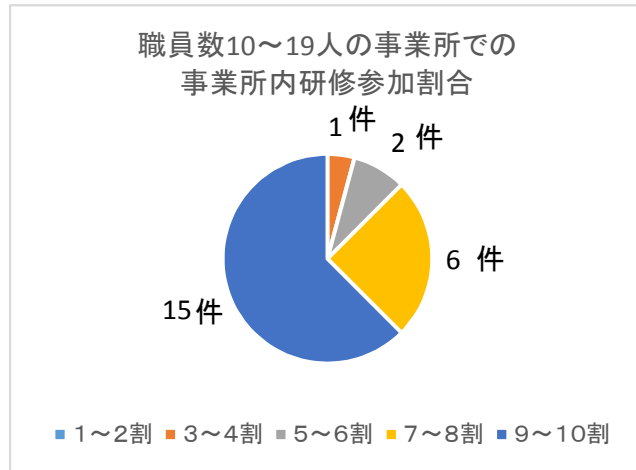
【1～9人の事業所／46カ所】

参加者割合	回答数(件)
1～2割	0
3～4割	1
5～6割	5
7～8割	7
9～10割	33



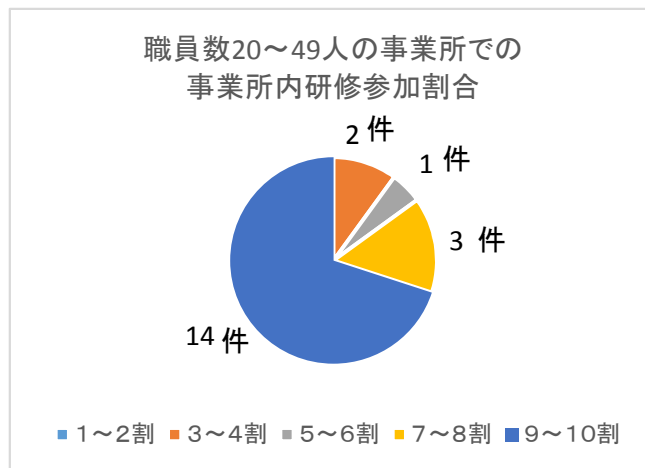
【10～19人の事業所／24カ所】

参加者割合	回答数(件)
1～2割	0
3～4割	1
5～6割	2
7～8割	6
9～10割	15



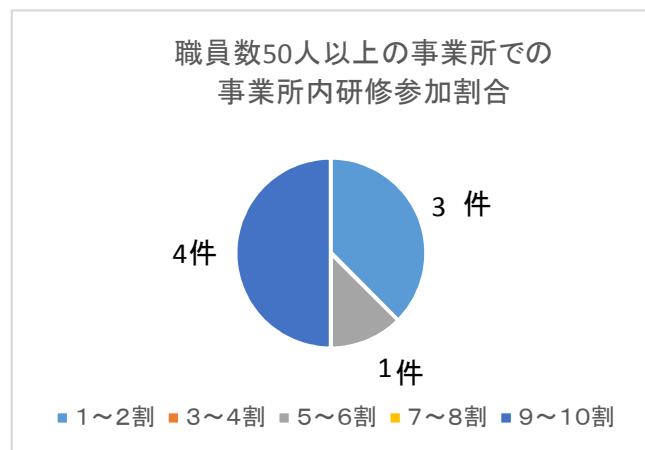
【20～49人の事業所／20カ所】

参加者割合	回答数(件)
1～2割	0
3～4割	2
5～6割	1
7～8割	3
9～10割	14



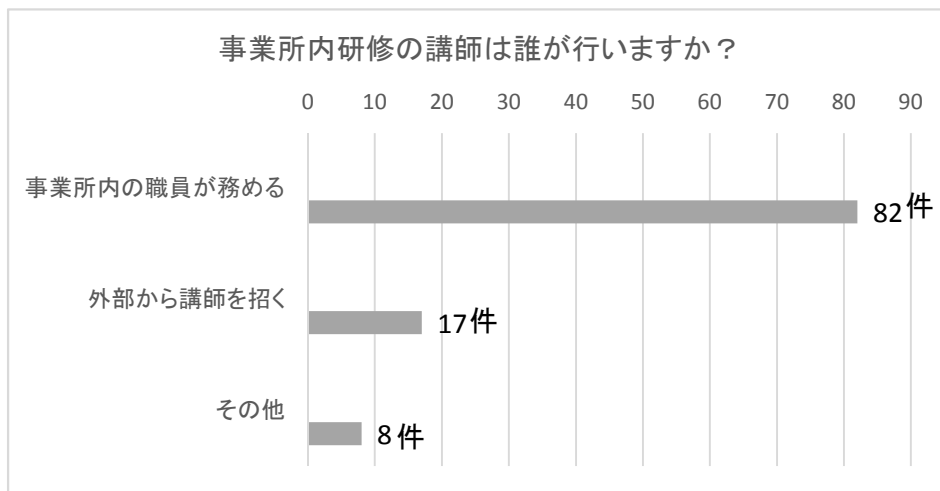
【50人以上の事業所／8カ所】

参加者割合	回答数(件)
1～2割	3
3～4割	0
5～6割	1
7～8割	0
9～10割	4



②研修の講師は誰が行いますか？

	事業所数(件)
事業所内の職員が務める	82
外部から講師を招く	17
その他	8



【事業所内の職員が務める場合の研修会名・内容】

○研修の場

- 月例ヘルパー会議
- 職員研修会虐待防止研修
- 虐待防止園内研修
- 母体施設の企画する研修へ共参
- 社内研修 障害者虐待防止
- 定例報告会での事業所内研修
- ヘルパー会議におけるテーマ別研修
- 職員全体会議の中で行った
- 部署会議の議題のひとつとして
- 施設会議(虐待防止対策)
- 毎月事業者会議にて
- 月一回 世話人会にて

○研修の内容

- 「障害者虐待の防止と対応の手引き」の読み合わせ
- 障害者虐待防止研修、虐待の事例を学ぶ
- 事業所(法人)で実施したアンケートを受けて
- 川村隆彦著:「支援者が成長するための50の原則」を基に研修プログラムを作成
- 心理的虐待について
- 虐待の内容、事例について
- 虐待の基礎知識
- 障害のある子ども、若者への虐待防止を家族と共に取り組む
- 障害者虐待防止(接遇、権利擁護)
- 障害者虐待防止法の理解と対応
- 身体拘束、虐待防止に関する研修会
- 障害者福祉施設等における障害者虐待の防止と対応の手引き
- 虐待防止研修会(虐待防止委員会の活動・虐待防止トレーニング)
- 障害者虐待、身体拘束等の排除、権利擁護
- 虐待防止のための支援のあり方、どこからが虐待にあたるか検討
- 事例で読み解く障害者虐待
- 保護者、利用者の気持ちを考える

○研修の方法

虐待防止研修、事例検討

虐待防止伝達研修

伝達研修「障害者虐待防止法の理解と対応」

ケース検討会を予定

虐待防止研修・個別アンケートを集計、話し合う

虐待防止研修 研修を受けての報告

定期研修の中で

障害者虐待防止内部研修 外部研修復習

施設内で起こり得る虐待について考える

国の虐待防止に関する資料

外部講習の内容を全職員で共有

厚労省のリーフを活用、チェックリスト

研修(外部)に参加した人が報告

研修を受けた職員の資料を参考に支援の振り返りと対応についてのディスカッション

虐待防止マニュアル読み合わせ

【外部から講師を招く場合の研修会名・内容】

虐待防止出張出前講座 群馬県社会福祉士会 滝澤氏

虐待防止研修会 高崎市障害者虐待防止センター 相談員

虐待防止研修 山本エマ氏

権利擁護センター出前講座 山崎さん

笑顔を見たくて 財津進介(県障害者権利擁護センター)

県の出前講座

虐待防止研修・出前講座 群馬県障害者権利擁護センター・財津進介氏

障害者虐待防止・権利擁護・身体拘束について 財津進介氏

障害者の権利を護るため アンガーマネジメント 権利擁護センター 滝澤俊幸氏

群馬県社会福祉士会出前講座

障害者の権利擁護～虐待防止を考える～

群馬県障害者権利擁護センターの出前講座 財津進介氏

「虐待の早期発見、早期対応のために」 滝澤俊幸氏

「障害者の権利 あらゆる立場の人が生きやすい社会を創るために」 石渡和実氏

事業所外研修会に出席した職員がOJTとして行う

虐待防止・権利擁護の理解

保護者会研修会(職員も同席)権利擁護センター職員

【その他】

県の研修へ 6月1名 7月1名参加

法人虐待防止マニュアルの確認、外部研修参加者による情報共有

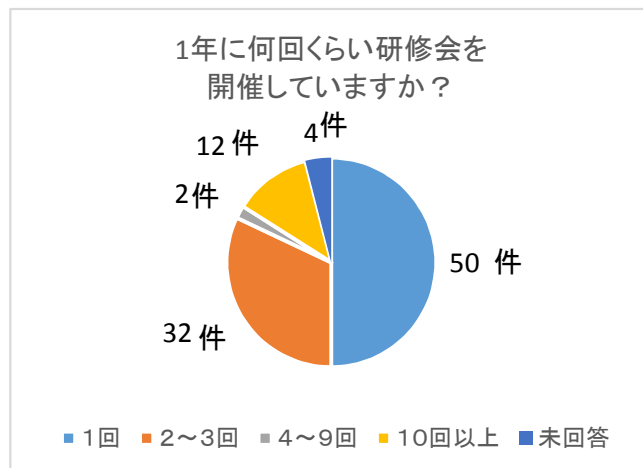
前回の研修会を元に当事業所内の虐待部会員による研修

研修:あらゆる立場の人が生きやすい社会を創るために～障害者支援施設の役割～

資料は国研修資料より抜粋改編(ねぎらいワーク)

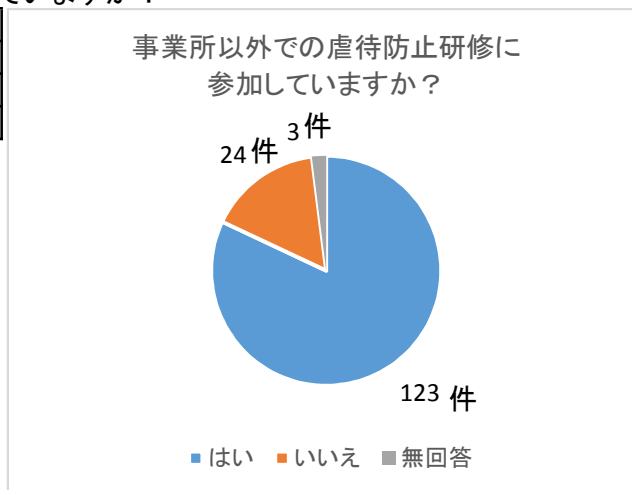
③1年に何回くらい研修会を開催していますか？

	事業所数(件)
1回	50
2～3回	32
4～9回	2
10回以上	12
未回答	4



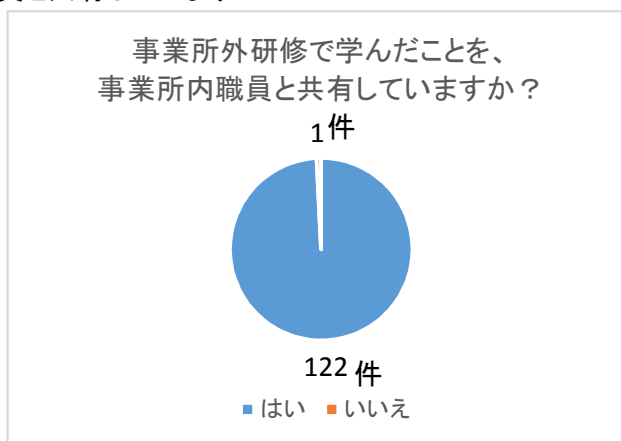
3 事業所以外での虐待防止研修に参加していますか？

	事業所数(件)	割合
はい	123	82%
いいえ	24	16%
無回答	3	2%



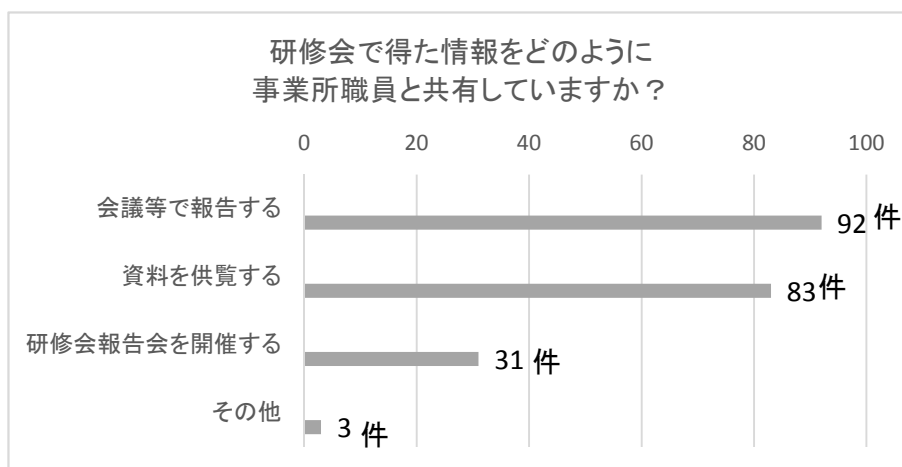
4 3で「はい」と答えた方にお伺いします。
事業所外研修で学んだことを、事業所内職員と共有していますか？

	事業所数(件)
はい	122
いいえ	1



5 4で「はい」と答えた方にお伺いします。
事業所内職員との共有は右記のうちどれに当てはまりますか？(複数回答可)

	事業所数(件)
会議等で報告する	92
資料を供覧する	83
研修会報告会を開催する	31
その他	3

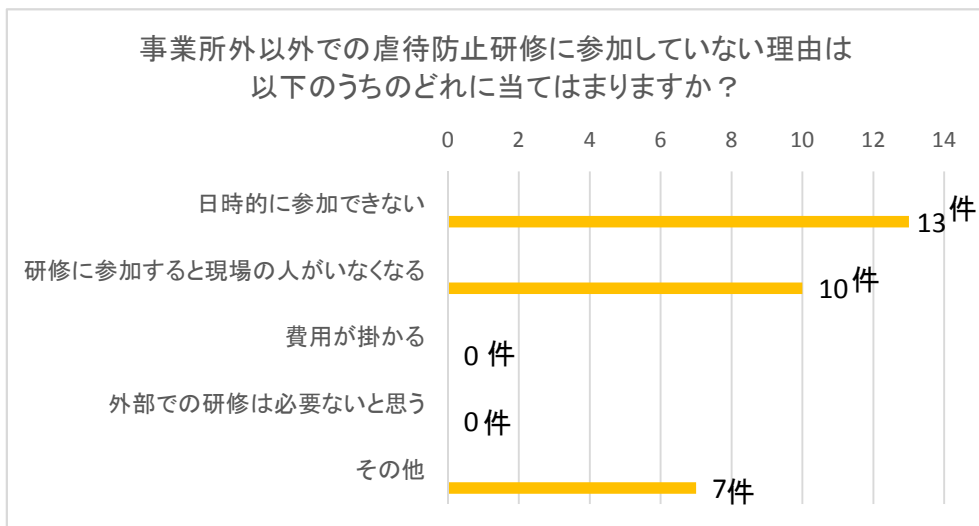


【その他意見】

研修受講者に事業所内にて同じ内容の研修をしてもらう
朝会にて報告
報告書

- 6 3で「いいえ」と答えた方にお伺いします。
事業所外以外での虐待防止研修に参加していない理由は右記のうちのどれに当てはまりますか？（複数回答可）

	事業所数(件)
日時的に参加できない	13
研修に参加すると現場の人がいなくなる	10
費用が掛かる	0
外部での研修は必要ないと思う	0
その他	7

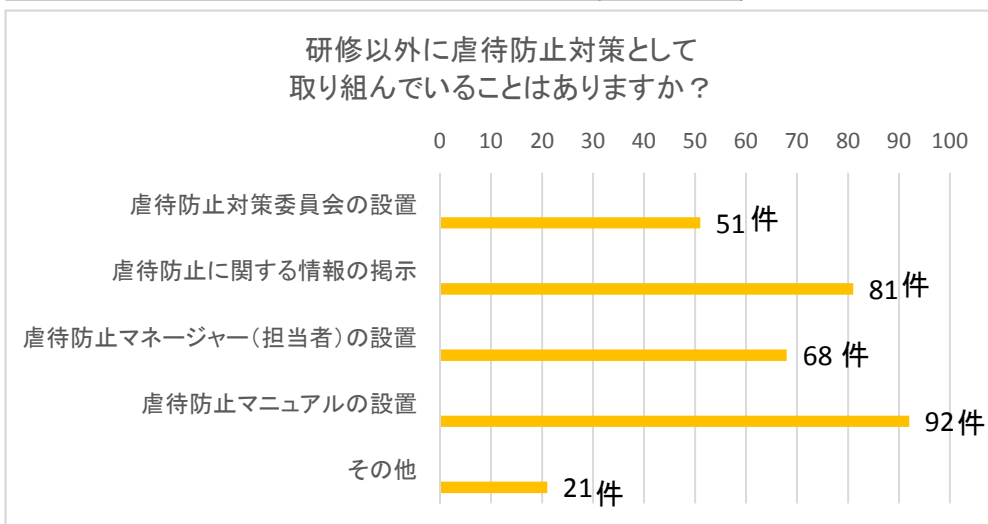


【その他意見】

まだ新設なので機会がなかった
他の事業所で参加している
一名のみの事業所なので
高齢者虐待防止研修を法人内で行ったから
今まで開催されていることを知らなかった
兼務だった為、日時的に困難だった

- 7 研修以外に虐待防止対策として取り組んでいることはありますか？（複数回答可）

	事業所数(件)
虐待防止対策委員会の設置	51
虐待防止に関する情報の掲示	81
虐待防止マネージャー(担当者)の設置	68
虐待防止マニュアルの設置	92
その他	21



【その他意見】

判断に迷うケースは相談員を呼んで話し合う

利用者2名のうち1名家族との生活

口頭で伝えている

名称は異なるが、虐待防止対策委員会と同様の内容の委員会を設置している

事業所では実施は無いが、全社的な研修は行う

障害者接遇マニュアルの掲示

二カ月に一度虐待防止委員会で目標を定め、毎朝申し送りで読み上げている

毎月の職員会議の中で虐待防止に関する計画を見ている

セルフチェックの実施

メンタルヘルスの研修、アンガーマネジメント研修への参加

アンケートの実施

委員会は無いが虐待防止窓口を設置している

研修会(勉強会、事例など)

虐待防止に関する情報の周知

セルフチェックをしてもらい、統計をとり、会議をして統一を図る

資料・パンフレットの読み合わせ

意見箱の設置

日々、確認し合う

日々、スタッフ間での情報共有を行っている

法人主催の研修会に参加

定期ミーティングでの喚起

職員のストレスチェックと相談医との連携

目安箱の設置

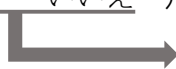
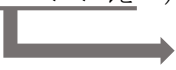
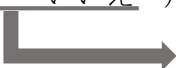
平成 29 年度 障害者虐待防止アンケート

【事業所名： _____ 記入者： _____ 連絡先TEL： _____】

◆貴事業所での障害者虐待防止対策研修についてお伺いします。

※アンケート回答の対象期間：平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

※新規事業所は開所から現在までの状況で構いません

1	事業所内での虐待防止研修を実施していますか？	(<u>はい</u> ・ <u>いいえ</u>)  「はい」の方は2へ 「いいえ」の方は3へ
2	1で「はい」と答えた方にお伺いします。 ①事業所内の研修の非常勤職員を含む全職員（支援員・事務員等の職種を問いません）の参加状況を教えてください。	全職員数（雇用形態・職種を問わず） _____人中、約_____割 が参加
	②研修の講師は誰が行いますか？ ※差支えなければチラシなどをご教授・同封いただければ幸いです。	a. 事業所内の職員が務める 【研修会名・内容】 (_____) b. 外部から講師を招く 【研修会名】 (_____) 【講師名】 (_____) c. その他 (_____)
	③1年に何回くらい研修会を開催していますか？	1年に (_____) 回
3	事業所以外での虐待防止研修に参加していますか？	(<u>はい</u> ・ <u>いいえ</u>)  「はい」の方は4へ 「いいえ」の方は6へ
4	3で「はい」と答えた方にお伺いします。事業所外研修で学んだことを、事業所内職員と共有していますか？	(<u>はい</u> ・ <u>いいえ</u>)  「はい」の方は5へ 「いいえ」の方は6へ
5	4で「はい」と答えた方にお伺いします。事業所内職員との共有は右記のうちどれに当てはまりますか？（複数回答可）	a. 会議等で報告する b. 資料を全職員に供覧する c. 研修会報告会を開催する d. その他 (_____)
6	3で「いいえ」と答えた方にお伺いします。事業所外以外での虐待防止研修に参加していない理由は右記のうちどれに当てはまりますか？（複数回答可）	a. 日時的に参加できない b. 研修会に参加すると現場の人がいなくなる c. 費用が掛かる d. 外部での研修は必要ないと思う e. その他 (_____)
7	研修以外に虐待防止対策として取り組んでいることはありますか？（複数回答可）	a. 虐待防止対策委員会の設置 b. 虐待防止に関する情報の掲示 c. 虐待防止マネージャー（担当者）の設置 d. 虐待防止マニュアルの設置 e. その他 (_____)

お忙しい中ご協力ありがとうございました。 高崎市福祉部障害福祉課